

令和 7 年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立錦系中学校
校長名	和田 浩二

Ⅰ 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
○全国平均値との比較で、5ポイント以上低い観点 が、大幅に減少した。(令和 6 年度 8→7 年度 1)	○目標値より5ポイント以上下回っている観点の数 2年生→国語 1 観点
○1年生→英語は2観点、国語・社会・数学は1観 点で全国平均値を超えた。	○昨年に引き続き、記述問題に対する解答率が区 と比べると低い教科がある。
○2年生→数学・理科・英語は2観点で、全国平均 値を超えた。	○区と比較した場合、DE層の割合に課題がある。 2年→社会
○3年生→数学・理科・英語は2観点で全国平均値 を超えた。	3年→国語・社会

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
○「将来あんなひとになりたい、こんなことがしたい ねこんな仕事に就きたいという夢や目標があ る」と肯定する割合が全国平均よりも高い。	○家庭で勉強を全くしない生徒が15%程度おり、 全国平均に比べ多い。
○ 学級の規範意識の標準スコアは全国値に比べ、 上回っており、学級風土は良好である。	○テストで間違えた問題をあとでやり直す」割合が 全国平均に比べ低い結果となった。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
○各自に配付されたタブレット端末を用いて、学習 支援アプリで互いの考えを交換しながら、主体的 な学習に積極的に取り組み、対話的な学習にも 前向きな姿勢を示している。	○学習を始める前に成果につながる方法を考えた り、自分に合った学び方を模索することが得意で ない生徒が少なくない。
○校内で実施する錦中コンテストでは、多くの生徒 が高得点を取り、基礎的・基本的な学力の定着に つなげている。また、年 3 回実施するタイピングコ ンテストでは、多くの生徒が、ブラインドタッチの習 得に励み、上位級の合格を目標に努力している。	○授業中は積極的に自分の考えを述べられるもの の、探究的な学習の場面では、発言や記述に対 して、自信を持てず躊躇する生徒も見受けられ る。
	○生徒一人一人の課題を踏まえ、授業の中で適切 に対応できるように、授業づくりや指導方法を工 夫して実践する必要である。

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 基礎的・基本的な知識・技能の定着

○基礎・基本の定着を図るための時間設定

既習事項の確認、知識を基にした説明、テストの振り返りなどの活動を意図的に設定し、学習内容の定着を図る。また、単位時間ごとや単元ごとに振り返りの時間を確保し、自らの学びを認識し深める姿勢を養う。

○ICT の活用による個別最適な学習の実現

「Qubena」や「ミライシード」などの AI 教材を活用し、授業・家庭学習・朝学習において、自分のペースで学習できる機会を提供する。学習履歴については教員が定期的に確認し、生徒一人ひとりに適した支援や助言を行うことで、基礎・基本の確実な定着を図る。

○振り返りシートと問題データベースの活用による学習の可視化と支援

学年および教科ごとに作成された振り返りシートを、区が設定する期間（10 月および 1 月～3 月末）に活用し、学習状況を把握する。また、定期考査においても問題データベースを活用することで、学習定着の状況を可視化し、個別支援につなげる。

(2) 思考力・判断力・表現力の育成

○アウトプット活動の充実による学びの定着

学習内容の理解を深め、その定着を図るため、各単元において「Pages」によるレポート作成、「Keynote」によるプレゼンテーション、「iMovie」を活用した動画制作などのアウトプット活動を取り入れる。習得した知識や技能を自ら表現することで、思考力・表現力を育成する。

○多面的・多角的な思考を育む学習活動の工夫

MetaMoji、Padlet、Numbers 共有機能などの ICT ツールを活用し、生徒同士が考えや意見を共有・比較できる環境を整える。他者の考えに触れる中で、自己の考えを深め、再構築する力を育成し、多面的な思考力の醸成を図る。

(3) 家庭学習の定着と校内学習コンテスト等の実施

○ICT 教材「Qubena」を活用した家庭学習の推進と学習記録の定着

家庭学習においては、ICT 教材「Qubena」の活用を推進し、基礎学力の向上を図る。各担任が学習の取り組みを手帳に記録するよう指導を行い、振り返りの習慣を育てることで、主体的な学習姿勢の定着を目指す。

○校内学習コンテストの実施による学習意欲の向上

校内において5教科を対象とした学習コンテストを実施し、基礎的・基本的な学力の定着と、年間を通じて目標を持ち計画的に学習に取り組む態度の育成を図る。学習への意欲を高めるため、満点獲得者には「満点賞」、90%以上の達成率の生徒には「高得点賞」として表彰を行う。

○各種検定受験の推奨と対策講座の充実

学力の定着と自己肯定感の向上を図るため、漢字検定・英語検定・数学検定の受験を積極的に推奨する。

また、外部講師を活用した英検・数検対策講座を実施し、受験機会の確保と合格に向けた支援を行う。

3 「令和 8 年度 墨田区学習状況調査」における目標

(1) 目標

○ 全学年、すべての教科で校内平均は、全国平均以上の値を目指す。

○ AI 学習教材を適切に用い、基礎的・基本的な知識の定着を図る。

○ 各学年各教科において、DE 層の割合を墨田区の割合以下にする。